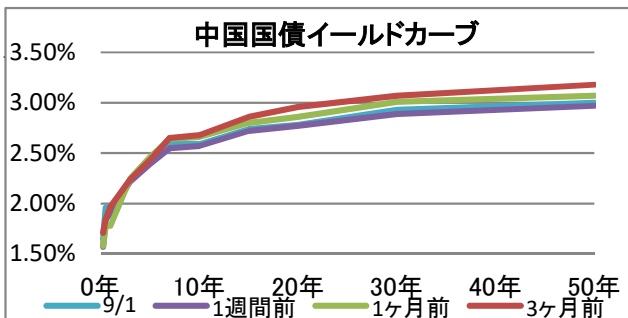
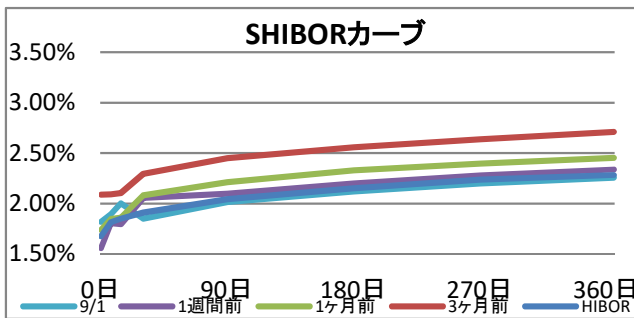


基準レート		2023/9/1	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1788	-0.0095
	JPY/CNY	5.0112	+0.0184
SHIBOR	3M	2.0440%	+0.0300%
国債利回り	10年	2.59%	+0.02%
上海総合指数		3,133.25	+69.17



(1) 概況

国際金融市場では、米国の経済指標が民間雇用指標を中心に市場予想を下回り、ECB理事会議事要旨での先行きの利上げに対する意見が分かれていたこと等から債券利回りは低下し、株式市場は上昇。その後、注目の米雇用統計はソフトランディング期待を高め、追加利上げ懸念を後退させる一方で政策金利の高め維持長期化への懸念を高める結果となり、債券利回りは下げ幅を縮小する一方、株式市場は上昇を維持した。為替市場は方向感なく、小幅なレンジ内での値動きが続いた。

中国金融市場では、先週末の株式市場支援策が好感して株価は週初に大きく上昇後、不動産企業のデフォルト懸念による海外投資家の売り等から上昇幅を縮小し、中国政府による不動産支援対策の公表等を受けて週末にかけて緩やかに上昇。債券市場では、PMIの改善や地方債等の増発懸念から利回りは上昇。外為市場では、景気悪化懸念が根強い中でも当局の元高設定や政策期待により横這いで推移した後、週末の人民銀行による外貨預金準備率引下げにより若干元高が進行。

中国では、習主席が中国国際サービス貿易交易会で、「対外開放推進を堅持し、高い質の発展により、各国に新たな機会を提供する」と強調し、李強総理はIMF専務理事との会談で、「改革開放を堅持し、民間企業の発展環境を最適化し、外資の誘致と活用を一層注力し、経済成長を促進する」方針を示した。人民銀行等は、個人の住宅ローン関連規制の緩和方針を発表し、民営企業向けの融資や資金調達支援を強化する方針を示し、外貨預金準備率の引下げを決定。証監会等は、市場の過度な変動抑制のため、株式のプログラム取引の管理強化等を公表し、資本市場の支援を強化するため「北京証券取引所の高い質の建設に関する意見」等を公表し、上海・深圳証券取引所は、基礎インフラ証券投資基金(REITs)を香港とのストックコネクト取引対象に含める方針を示し、財政部は、下期の財政政策について、積極的な財政政策の効率性向上、地方专项債発行・使用の加速、地方政府債務リスクの防止等の方針を示した。国有銀行や株式制商業銀行等の多くが、上期決算を公表し、総資金利鞘が低下する中、定期預金金利の引下げを実施。この間、不動産市場では、不動産大手の赤字決算に続き、大手格付け会社が不動産大手・碧桂园等の格付けの引下げを決定し、不動産企業の債務問題に対する懸念が高まっている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日7,280億元に対し、リバースオペ14,090 億元を実施し、ネットで 6,810 億元を供給。

(3) 主な経済指標

- ・ 国家統計局PMI (8月) は、製造業が49.7% (7月、49.3%) と改善したが5カ月連続で分岐点の50%を下回った。サブ指数では、新規受注が5カ月振りに分岐点の50%を上回ったが、雇用等が悪化。非製造業は51.0% (同、51.5%) と、不動産市場等の低迷で5カ月連続の低下となった。総合は、製造業の改善を反映し51.3% (同、51.1%) と若干改善した。
- ・ 財新PMI (8月) の製造業は51.0 (7月49.2) と、新規受注と生産の回復により、2カ月振りに分岐点を上回った。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.6770%	1.8400%	1.6000%	
1W	1.8140%	2.0000%	1.8000%	
2W	1.8510%	1.7500%	2.1000%	1.8000%
1M	1.9100%	2.2000%	2.0200%	2.0800%
3M	2.0440%	2.5000%	2.1500%	2.0800%
6M	2.1510%			2.2000%
9M	2.2360%			2.2700%
12M	2.2830%			2.3000%

人民銀行が積極的な資金供給を続け、資金需給はタイトな状況が続いている。9月に入り、ターム物は四半期末越えとなることから、高止まりが続く見込み。ターム物の出合いは、1ヶ月の2.1%台での取引を除き限定的。

NCDの金利水準も、資金需給のタイト化や四半期末を意識した金利水準となっており、1ヶ月と3ヶ月が2.0%台後半、6ヶ月が2.2%前後、1年が2.3%前後へと上昇している。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	5.35%	5.42%
1W	5.45%	5.50%
1M	5.60%	5.65%
3M	5.70%	5.75%
6M	5.75%	5.80%
12M	5.85%	5.95%

雇用統計を週末に控えており、中国国内市場でもビッドしっかりの展開が続いており、ターム物は、1ヶ月が5.6%前後、3ヶ月は5.7%前後での取り引きが続いている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.65%		2.00%	2.17%	2.32%
6M	1.96%		2.18%	2.27%	2.41%
1Y	1.96%	2.13%	2.34%	2.41%	2.59%
3Y	2.24%	2.36%	2.61%	2.74%	3.22%
5Y	2.44%	2.55%	2.70%	2.93%	3.66%
10Y	2.59%	2.80%	2.87%	3.14%	3.90%

米国債券市場では、週末に雇用統計を控える中、週前半から民間の雇用指標が鈍化傾向を示す内容となったことから、追加利上げ懸念が後退し、債券利回りは低下。注目された雇用統計は新規雇用増加数が市場予想を上回ったものの、失業率は低下に転じており、追加利上げ懸念は一段と後退したものの、金融引締め長期化懸念は残り、長期債利回りは上昇に転じて週末を迎えている。中国債券市場では、前週のLPR引き下げが予想を下回った影響が続き、大手銀行が相次いで預金金利を引き下げたものの、月末の短期金利上昇や政府債増発懸念から利回りは上昇を続けている。この結果、米国の10年国債利回りは4.18%（前週比-6bp）、10年中国国債利回りは2.59%（同、+2bp）となり、利回り差は+159bp（同-8bp）と縮小が続いている。

中国債券のイールドカーブは、短期金利を中心に上昇しており、フラット化が一段と進んだ。クレジットスプレッドは、短期では拡大する一方、中期以降では信用債利回りの上昇が限定的だったこと等から、概ね縮小している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-239.0 / -237.0
3M	-653.0 / -650.0
6M	-1315.0 / -1311.0
9M	-1954.0 / -1950.0
12M	-2546.0 / -2540.0

対ドル基準レートは7.1788と前週末比-95pipsのドル安元高、対円基準レートは5.0122と同+184pipsの円高元安と、大幅な元高水準での設定が続いている。中国国内市場では、債券通南向きでの対外投資抑制要請や香港での人民元需給タイト化や不動産市場支援政策公表が続く中、米国の民間雇用指標が予想を下回ったことや9/15からの外貨預金準備率引き下げ発表を契機に7.23台まで元高ドル安に振れる展開となったが、ドル買い需要は根強く、7.26台に戻して週末を迎えている。

先物は、米中金利差が拡大から縮小に転じる可能性が高まりつつあるものの、外貨需要の強さからスワップ幅の縮小は限定的で、1年物が-2500台後半から前半に小幅に縮小する程度に止まっている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.93%		1.54%
6M	1.95%	2.14%	1.51%
9M	1.96%	2.16%	1.52%
1Y	1.97%	2.17%	1.53%
3Y	2.19%	2.42%	1.95%
5Y	2.42%	2.70%	
7Y	2.50%	2.79%	
10Y	2.65%	2.89%	

スワップ金利は、債券利回り上昇を受けて前週末比での上昇が続き、債券利回りとの差であるスワップスプレッドは小幅ながら縮小に転じている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。